

**株式会社クロス・マーケティンググループ
2022年6月期 1Q連結決算説明資料**

2021年11月11日

CONTENTS

1. 2022年6月期 1Q連結決算概要P 3
2. 2022年6月期 1Q事業セグメント別の状況P 9
3. 2022年6月期 1QトピックスP13
4. 2022年6月期 業績予想についてP17
5. 株主還元・配当金額P19
6. 参考資料P21

1. 2022年6月期 1Q連結決算概要

Executive Summary

デジタルマーケティング事業の好調な売上拡大に加えて、
データマーケティング、インサイト事業の閑散期である7-9月
において堅調な案件受注により売上確保

連結業績として7月-9月の会計期間、最高売上・利益を計上
前年同時期と比較して売上高**145.5%**、営業利益**342.4%**

22年6月期通期の業績予想に対し堅調な売上・利益の進捗
さらなる成長を見据えて各種施策を推進

前年同期間(2020年7月-9月)と比較して売上高**1.5倍**、営業利益は**3.4倍**に
7月-9月の連結業績として**過去最高売上・利益**を達成

(単位：億円)	2020年7-9月 実績	2021年7-9月 実績	
		金額	前年比
売上高	36.7	53.5	145.5%
営業利益	1.4	4.9	342.4%
経常利益	2.1	4.5	216.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	0.8	2.7	302.7%

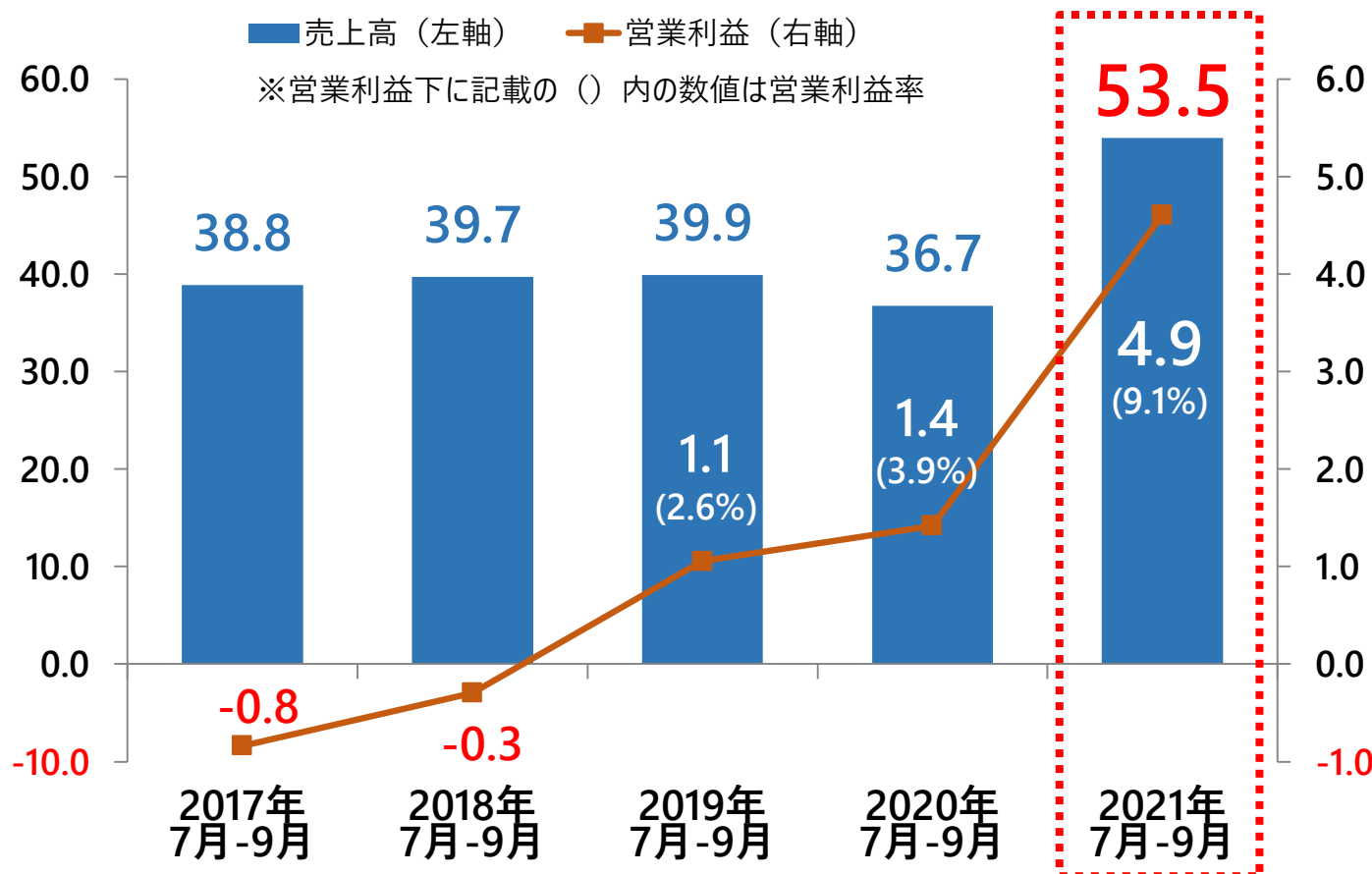
※2021年6月をもって決算期変更しているため、2021年7～9月の実績に対して同期間である2020年12月期第3四半期連結会計期間(2020年7月～9月)の業績と比較しております。

2017年以降における7月-9月の業績推移

7月-9月業績として過去最高売上・利益を達成
 営業利益率も大幅に改善し、営業利益は前年同期の3.4倍を計上

(単位：億円)

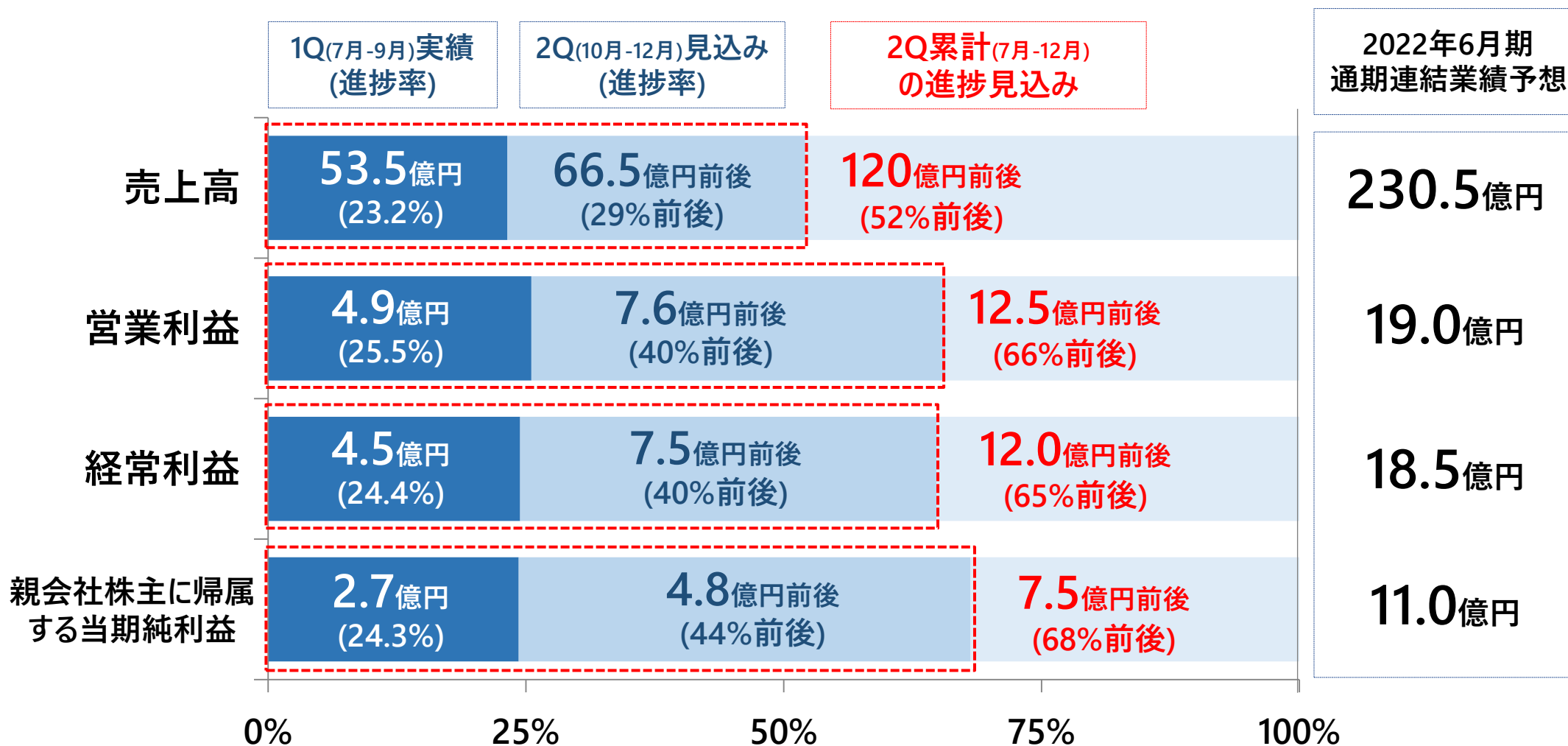
(単位：億円)



2020年7月-9月と 2021年7月-9月の比較	
売上高 前年同期比	145.5%
営業利益 前年同期比	342.4%
営業利益率 前年同期比	+5.2pt

2022年6月期通期連結業績予想に対する進捗状況

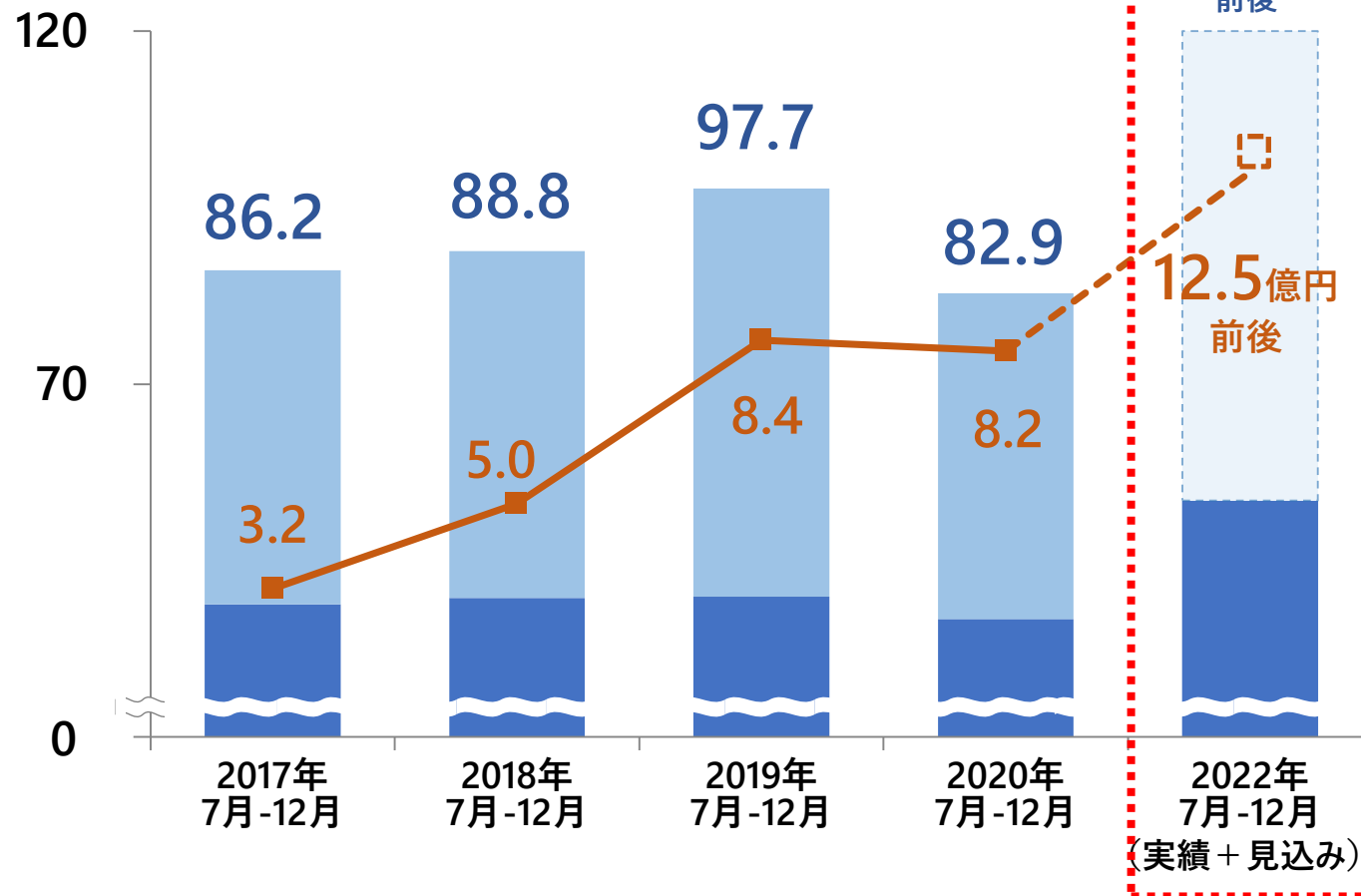
データマーケティング、インサイト事業の閑散期の中で**1Q(7月-9月)は堅調に進捗**
グループ全体として2Q(10月-12月)も好調な進捗を見込む



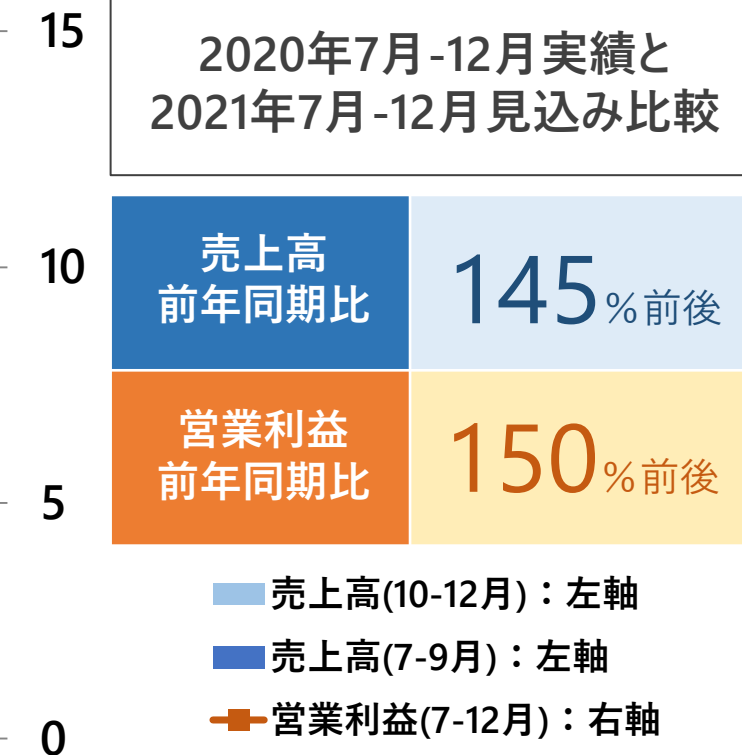
2017年以降における7月-12月の業績推移

1Q(7月-9月)の好調な業績進捗に加えて、繁忙期である2Q(10月-12月)も堅調な売上・利益を見込み、**上期(7月-12月)も業績拡大見通し**

(単位：億円)



(単位：億円)

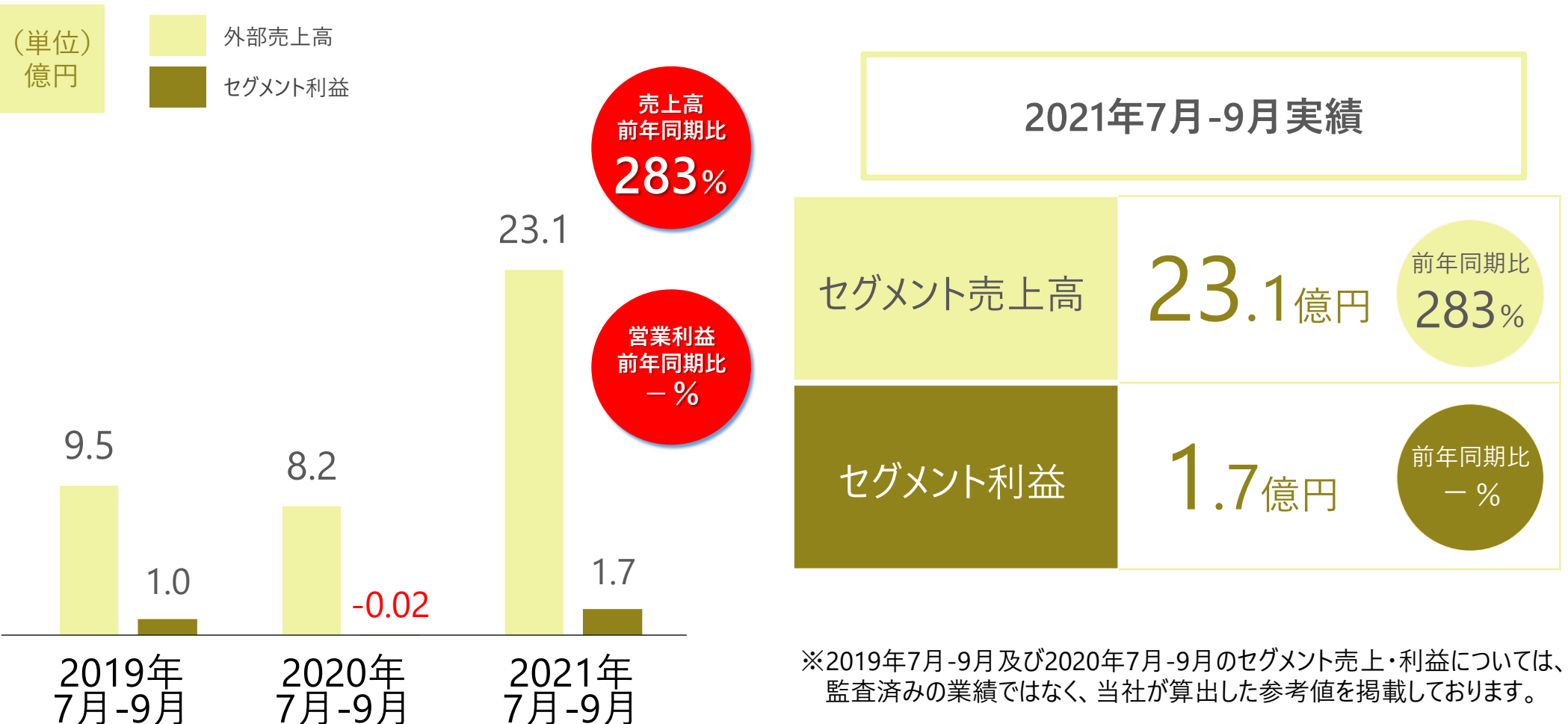


※棒グラフ上の青文字の数値は各年度の7月-12月の6か月間の売上高を表記しております。

2. 2022年6月期 1Q事業セグメント別の状況

デジタルマーケティング事業

コロナ禍の前年同時期(7月-9月)と比較して、新規顧客獲得の推進、新サービス展開により既存事業会社の売上・利益ともに大きく拡大



データマーケティング事業

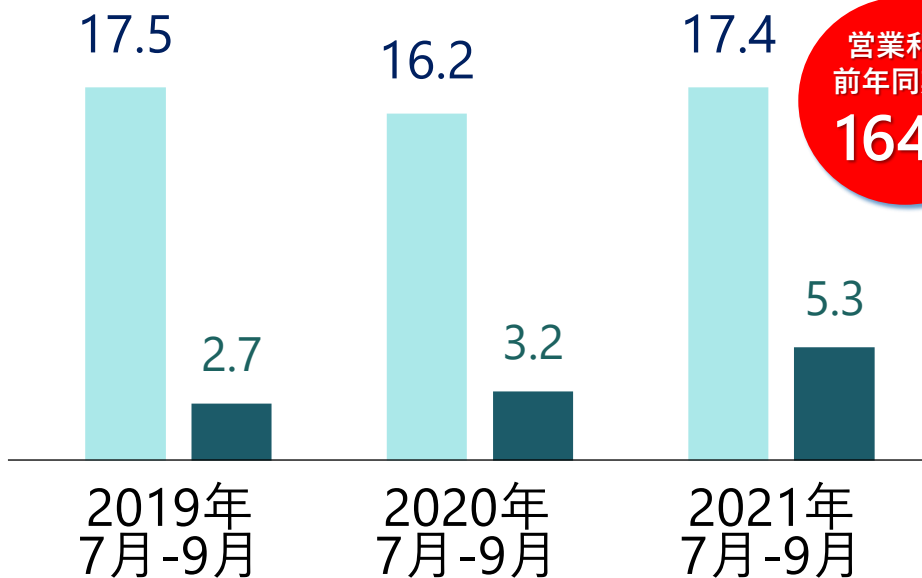
海外大型案件計上及びコスト見直しにより黒字化継続、
国内のオンライン案件の受注増による粗利率向上により利益1.6倍

(単位)
億円



売上高
前年同期比
108%

営業利益
前年同期比
164%



2021年7月-9月実績

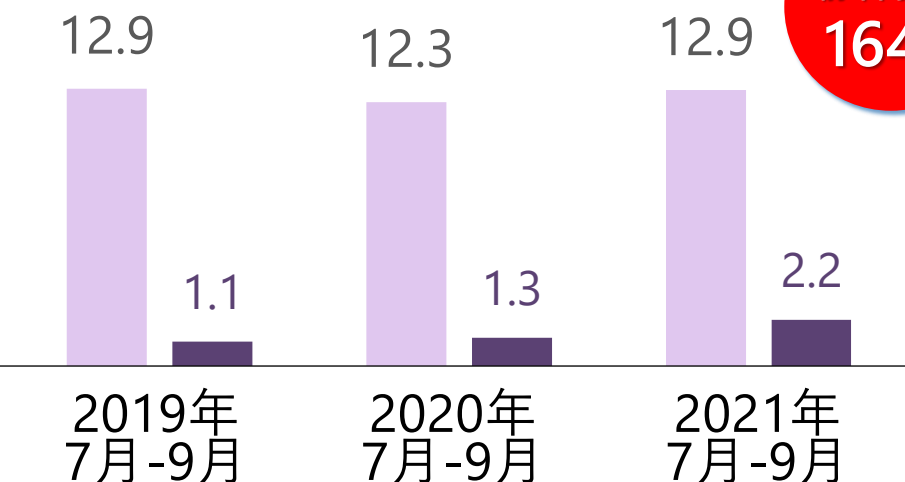


※2019年7月-9月及び2020年7月-9月のセグメント売上・利益については、監査済みの業績ではなく、当社が算出した参考値を掲載しております。

インサイト事業

海外の組織体制見直し・コスト適正化による黒字化に加え、国内のオフライン案件の受注増により売上・利益ともに堅調に推移

(単位)
億円



売上高
前年同期比
104%

営業利益
前年同期比
164%

2021年7月-9月実績



※2019年7月-9月及び2020年7月-9月のセグメント売上・利益については、監査済みの業績ではなく、当社が算出した参考値を掲載しております。

3. 2022年6月期 1Qトピックス

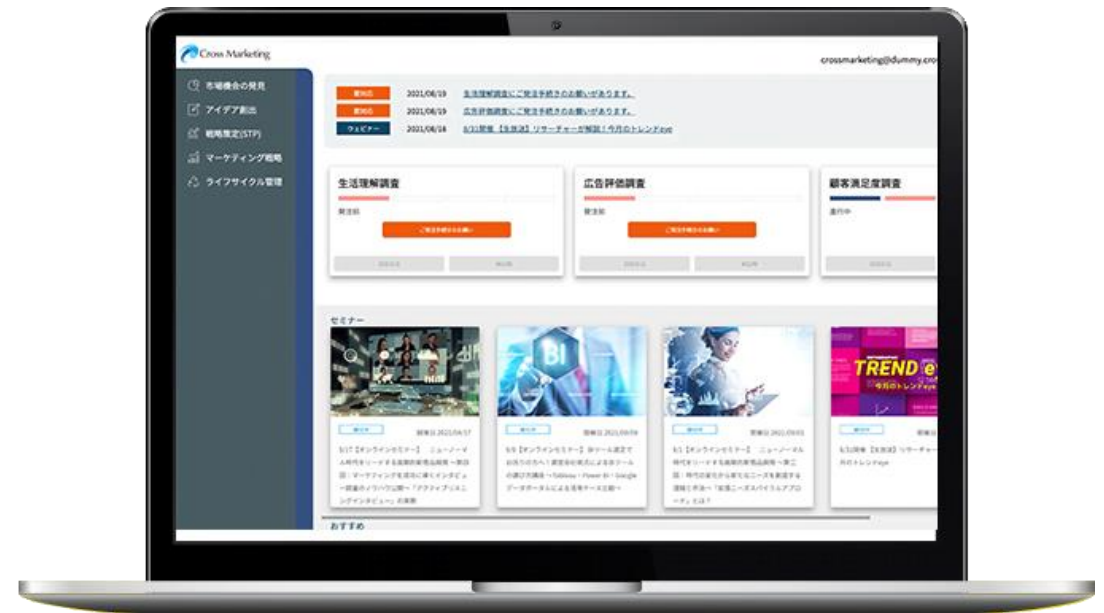


お客様の**案件情報の集約**や**課題解決を推進するCRM※ツール**として お客様専用ポータルサイト「Cross Marketing Console」提供開始

※CRM：Customer Relationship Management

【特徴】

- 案件情報に簡単にアクセス
- 各サービスの進捗が一目で分かる
- 課題に応じた最新サービス情報





モラタメ.netが寄付で社会を応援！SDGsプロジェクトをスタート ～ モラタメ.net上の決済金額の一部を支援団体に寄付します ～

【寄付対象団体】

SDGsの17の目標のうち、以下3テーマを特に推進している団体に寄付活動を行います



「飢餓をゼロに」



「すべての人に健康と福祉を」



「ジェンダー平等を実現しよう」





日本最大級のお試しサイト『モラタメ』が
ドローンによる商品サンプリングの実証実験を開始
～ 配達限界エリアへ新商品・話題の商品をお届け ～

【実証実験実施の背景】

配達限界エリアの一つである山梨県にある
小菅村は、荷物の配達頻度や回数などに課題

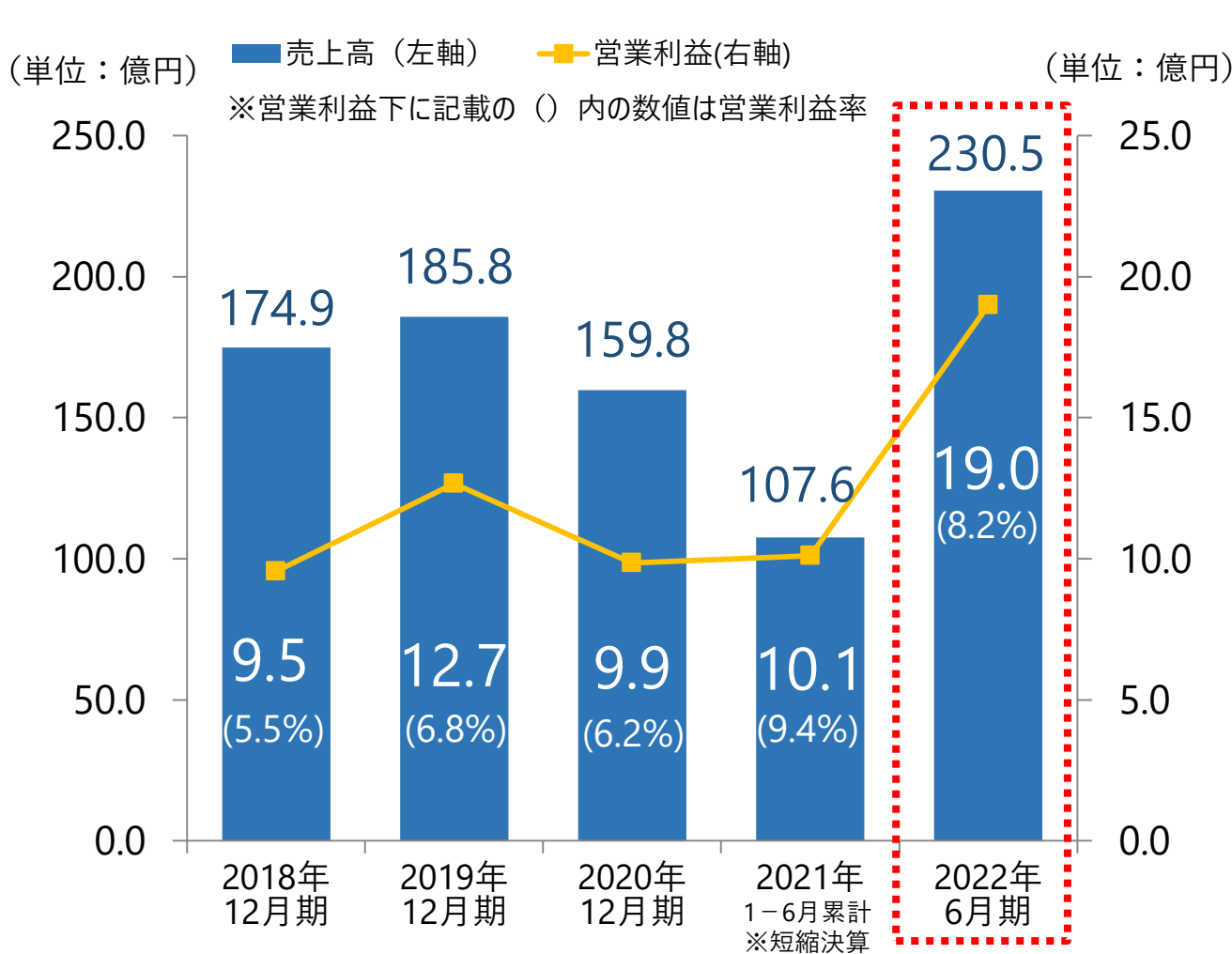
『モラタメ.net』からドローンによる配送で
新商品をお届けすることとなりました。



今後も『モラタメ』は生活者の方々に、
商品体験を通じて商品との出会いの場を提供し続けます。

4. 2022年6月期 業績予想について

グループ全体におけるDX/デジタルシフトへの取り組みを推進し、 中期計画の売上高300億円達成に向けて、過去最高売上・最高利益を目指す



(単位：億円)

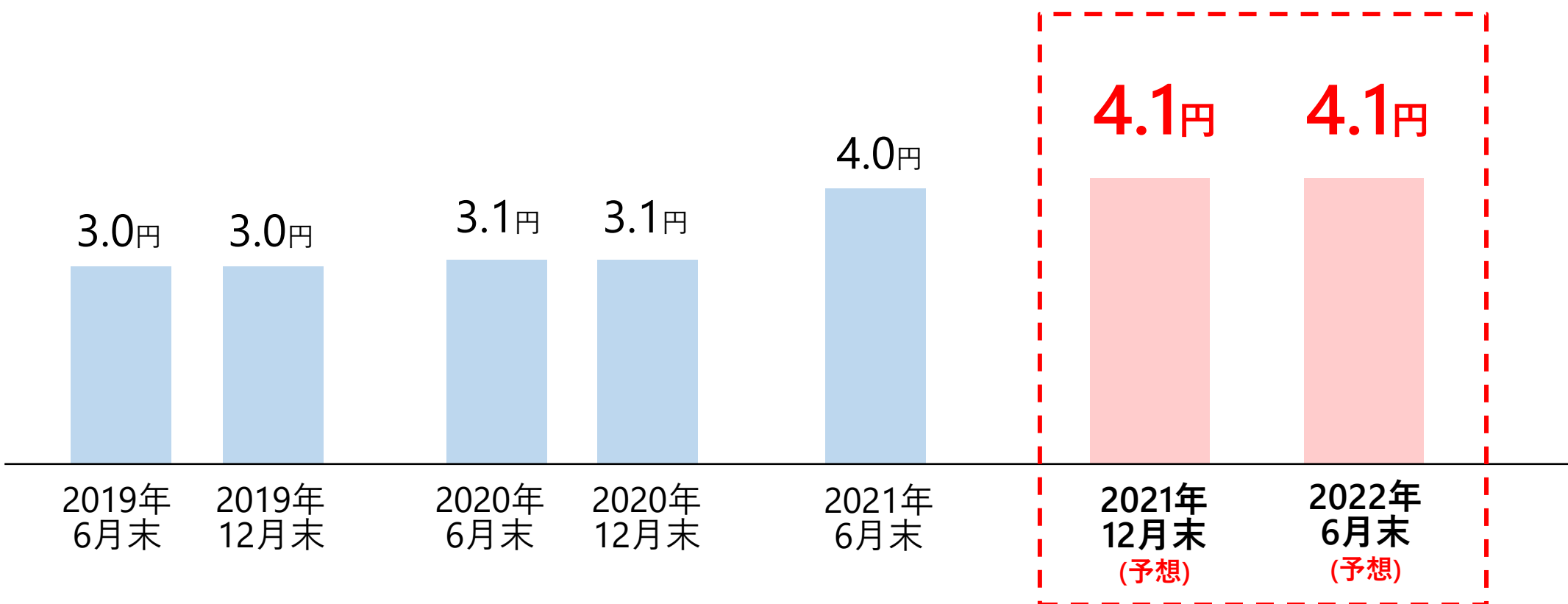
2022年6月期通期連結業績予想
(21年7月~22年6月)

売上高	230.5
デジタルマーケティング	100.1
データマーケティング	70.0
インサイト	60.4
営業利益	19.0
経常利益	18.5
親会社株主に帰属する当期純利益	11.0

5.株主還元・配当金額

配当方針である配当性向15%を目安にした継続増配を前提として、
2022年6月期配当金 1株当たり**8.2円**（中間4.1円、期末4.1円）を予定

2019年以降の半期ごとの1株当たり配当金額推移



6. 參考資料

連結損益計算書概要

単位：億円

	2020年7月-9月	2021年7月-9月	前年同期間比
売上高	36.7	53.5	145.5%
売上原価	22.7	31.6	139.5%
売上総利益	14.1	21.9	155.2%
売上総利益率	38.3%	40.9%	+2.5pt
販売費 及び 一般管理費	12.7	17.0	134.2%
営業利益	1.4	4.9	342.4%
営業利益率	3.9%	9.1%	+5.2pt
経常利益	2.1	4.5	216.4%
特別損失	0.8	0.1	16.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	0.9	2.7	302.7%

売上高増加

新型コロナウイルス感染症の影響の大きかった2020年7月-9月より、デジタルマーケティング事業を中心に売上拡大、DH社※の連結も寄与

1

2

売上総利益増加・売上総利益率改善

デジタルマーケティング事業の内、DH社の貢献に加えて、各事業会社の売上増加による売上総利益増加の影響。

国内における営業、原価稼働を含む生産性の改善、海外のコスト最適化や適切な案件受注により、売上総利益率が改善

※DH社：株式会社ドウ・ハウス

連結貸借対照表概要

単位：億円	2021年6月末	2021年9月末	増減
流動資産	95.6	91.8	-3.7
現金及び預金	51.7	42.8	-8.9
受取手形及び 売掛金	31.5	35.3	+3.8
その他	12.3	13.7	+1.4
固定資産	22.2	22.9	+0.7
のれん	2.3	2.1	-0.2
その他	19.9	20.8	+0.9
総資産	117.8	114.7	-3.0

単位：億円	2021年6月末	2021年9月末	増減
流動負債	50.5	47.3	-3.3
買掛金	14.5	16.1	+1.7
短期借入金※	12.0	12.0	+0.02 1
その他	24.1	19.1	-4.9
固定負債	23.9	21.9	-2.0
長期借入金	21.1	18.9	-2.1 1
その他	2.8	2.9	+0.2
純資産	43.4	45.6	+2.2 2
自己資本比率	34.0%	36.7%	2.7pt

※一年以内返済の長期借入金含む

1 借入金の返済

新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、手元流動性を確保するために2020年6月に実施した借入金の一部を返済

2 純資産の増加

7月-9月の純利益の稼得により利益剰余金等が増加

会社概要

社名	株式会社クロス・マーケティンググループ
代表者	五十嵐 幹
設立	2013年6月3日 持株会社体制への移行に伴い新規設立、 クロス・マーケティングの設立は2003年4月1日
資本金	6億4,671万円
従業員数 (連結)	1,354名 (内、臨時従業員238名)
事業内容	デジタルマーケティング事業、データマーケティング事業、インサイト事業

事業セグメント・事業内容



デジタルマーケティング事業

デジタルプロモーション、EC・マーケティング支援、システム開発・保守・運用、人材サービス等を提供



データマーケティング事業

オンラインを中心としたデータ収集により、顧客のマーケティング活動の意思決定を支援



インサイト事業

課題解決に向けたコンサル、生活者理解、生活者の“Why?”の発掘等により、顧客の意思決定を支援



連結業績及び主な指標の推移

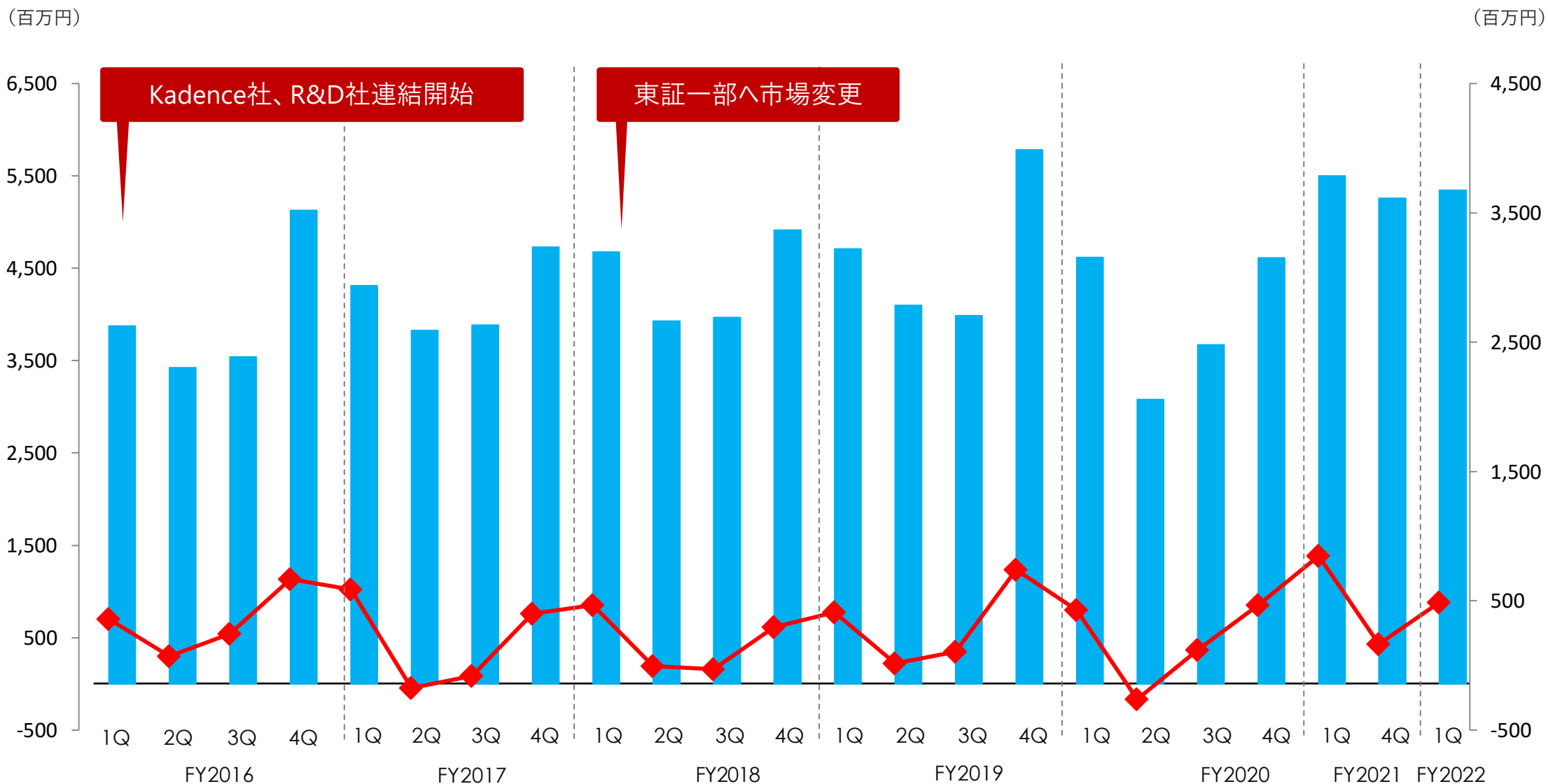
	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 6月期※1
売上高 (百万円)	16,758	17,492	18,580	15,985	10,758
営業利益 (百万円)	727	955	1,267	986	1,007
経常利益 (百万円)	597	840	1,150	1,078	1,048
当期純利益 (百万円)	△703	507	△477	467	540
純資産 (百万円)	3,598	3,900	3,420	3,594	4,339
総資産 (百万円)	9,564	10,429	9,927	11,416	11,775
一株当たり配当金 (円)	5.5	5.5	6.0	6.2	4.0※2
EPS (円)	△36.00	25.92	△24.12	23.67	27.50
BPS (円)	177.75	193.79	166.19	179.58	204.27
ROE (%)	—	14.0	—	13.6	14.3
ROA (%)	6.1	8.4	11.3	10.1	9.0

※1 2021年6月期は決算期変更により6か月間の短縮決算期となっております。

※2 2021年6月期の配当金額は短縮決算により6か月間分の業績を反映したものになります。

連結売上高・営業利益四半期推移

【売上高(棒グラフ)】【営業利益(折れ線グラフ)】



グループ沿革

- | | | | | | |
|-------|-----|---|-------|-----|--|
| 2003年 | 4月 | 東京都渋谷区にて創業 | 2015年 | 7月 | 株式会社メディリード、
株式会社ディーアンドエムを設立・営業開始 |
| 2004年 | 1月 | 東京都中央区に移転 | 2015年 | 8月 | Cross Marketing(Thailand)Co., Ltd
(現Kadence International(Thailand) Co., Ltd.)を設立 |
| 2006年 | 5月 | 株式会社VOYAGE GROUP及びその子会社
株式会社リサーチパネルと資本・業務提携 | 2015年 | 11月 | クロス・コミュニケーションがJIN SOFTWARE株式会社
(現 株式会社クロス・ジェイ・テック) を子会社化 |
| 2008年 | 10月 | 東京証券取引所マザーズ市場に上場 | 2016年 | 4月 | 株式会社ショッパーズアイ営業開始 |
| 2011年 | 8月 | 株式会社インデックスよりモバイルソリューション事業の一部を
譲受し、株式会社クロス・コミュニケーションが営業開始 | 2018年 | 3月 | 東京証券取引所 市場第一部へ市場変更 |
| 2012年 | 5月 | 中国(上海)に子会社
Cross Marketing Chinaを設立・営業開始 | 2018年 | 4月 | 株式会社クロスベンチャーズを設立 |
| 2013年 | 6月 | 単独株式移転により株式会社クロス・マーケティンググループを
新設、持株会社制へ移行 | 2018年 | 10月 | クロス・コミュニケーションが
サポタント株式会社を子会社化 |
| 2013年 | 8月 | Markelytics社及びMedePanel社の株式取得 | 2019年 | 9月 | 株式会社withworkを設立 |
| 2014年 | 5月 | 本社を東京都新宿区に移転 (東京オペラシティ) | 2019年 | 11月 | サポタント株式会社と株式会社クロス・ジェイ・テックが
合併し、株式会社Fittioに商号変更 |
| 2014年 | 11月 | 欧米アジア等8ヶ国に展開するKadenceグループを
完全子会社化 | 2020年 | 10月 | クロスマーケティングがリサーチ・アンド・ディベロプメントを
吸収合併 |
| 2015年 | 2月 | 関連会社リサーチ・アンド・ディベロプメントを連結子会社化 | 2021年 | 1月 | 株式会社ドウ・ハウスを子会社化 |
| 2015年 | 4月 | クロス・コミュニケーションが函館に
子会社クロス・プロップワークスを設立 | | | |

本資料に関するご注意

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

本資料に掲載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、変更されることがあることをご了承下さい。

～本資料に関するお問合せ先～

株式会社 クロス・マーケティンググループ グループ経営戦略部

Mail : ir-cm@cross-m.co.jp

Cross Marketing Group Inc.

<https://www.cm-group.co.jp>